

# 障害者活躍推進計画実施状況について(令和2年度)

## 1 障害者活躍推進計画に掲げる目標の状況について

目標①「採用に関する目標」実雇用率（各年6月1日時点）  
（令和4年6月1日時点）2.5%

令和2年6月1日現在の雇用状況

雇用率（法定雇用率2.4%） 2.49%

- ・令和元年6月1日からの1年間で、新たに47人の障害者の方の採用等（※1）をした一方、退職等により23人分の減少となったことから、雇用人数は昨年と比べ24人増加して、障害者雇用率は2.49%となった

	実人数	雇用率換算※2	
算定の基礎となる総職員数	6402.0人		
障害者として算入した職員数	116人	159.5人	R1実績
雇用率（法定雇用率2.4%）		2.49%	2.18%

※1 障害を有する職員の雇用人数に係る増加要因としては、新規採用のほか、手帳の新規取得及び任命権者間での異動によるもの。

※2 雇用率換算について重度の障害者は2人（週30時間以上勤務の職員）として算定。週20時間以上30時間未満の職員は0.5人として算定。

目標②定着に関する目標

不本意な離職者を極力生じさせない

（評価方法）毎年の任免状況通報のタイミング（6月1日時点）で、人事記録を元に前年度採用者の定着状況を把握・進捗管理。

継続就労状況：72.3%

⇒正規職員11名、会計年度任用職員36名を採用

うち13名が離職（主な理由：通勤距離、仕事が合わない、体調不良）

（評価方法）

- ・令和2年4月1日～令和3年3月31日までににおける新規採用者の令和3年6月1日時点の在籍状況
- ・正規職員は教育委員会に配属された新規採用者、会計年度任用職員は教育委員会において新たに採用を行った職員（組織再編や出向による配置を含む。）を対象とする。

目標③満足度、ワーク・エンゲージメントに関する目標  
【ワーク・エンゲージメント】前年度を上回る

令和2年度に仕事や職場に関する満足度を測る初回アンケート調査を実施。  
結果については、別添のとおり。

「仕事に関してどう感じているか」次の質問で調査し、7つの選択肢により得点化。

- ・熱意\_\_仕事に誇りや、やりがいを感じている（3項目）
- ・没頭\_\_仕事に熱心に取り組んでいる（3項目）
- ・活力\_\_仕事から活力を得ていきいきとしている（3項目）

質問項目

1. \_\_\_ 仕事をしていると、活力がみなぎるように感じる。（活力1）
2. \_\_\_ 職場では、元気が出て精力的になるように感じる。（活力2）
3. \_\_\_ 仕事に熱心である。（熱意1）
4. \_\_\_ 仕事は、私に活力を与えてくれる。（熱意2）
5. \_\_\_ 朝に目がさめると、さあ仕事へ行こう、という気持ちになる。（活力3）
6. \_\_\_ 仕事に没頭しているとき、幸せだと感じる。（没頭1）
7. \_\_\_ 自分の仕事に誇りを感じる。（熱意3）
8. \_\_\_ 私は仕事にのめり込んでいる。（没頭2）
9. \_\_\_ 仕事をしていると、つい夢中になってしまう。（没頭3）

選択肢

6. いつも感じる（毎日）      5. とてもよく感じる（1週間に数回）      4. よく感じる（1週間に1回）  
3. 時々感じる（1ヶ月に数回）      2. めったに感じない（1ヶ月に1回以下）  
1. ほとんど感じない（1年に数回以下）      0. 全くない

#### 目標④キャリア形成に関する目標

【障害者が担当する職務の拡大】 毎年度6項目の新たな職域を開拓する

〈会計年度任用職員〉 令和2年度当初より、教員の業務補助のため県立学校職員室への配置を開始。峡中地域の県立学校職員室2校に配置し職域を拡大。

令和3年度は次の地域へ11ポストの職域の拡大を実施。

- ・ 中北地域 6所属（所属内業務補助、教員業務補助）
- ・ 峡東地域 4所属（事務補助、教員業務補助）
- ・ 峡南地域 1所属（事務補助）

## 2 障害者の活躍を推進する体制整備

- ・ 総務課長が務める障害者雇用推進者、本庁各課所属長等を構成員とする「障害者雇用推進チーム」や「実務者チーム」を設置、会議開催
- ・ 人的サポート体制（推進チーム、実務者チーム、障害者職業生活相談員等）を整備

#### 【令和2年度】

- 6月30日（火）・「障害者雇用推進チーム」及び「実務者チーム」設置
  - ・ 障害者職業生活相談員の選任（障害者が5人以上いる職場）
- 7月2日（木）「障害者雇用促進研修」（知事部局実施研修への参加）
  - ・ 「障害者職業生活相談員の役割」外部講師講演
  - ・ 各所属におけるマネジメント事例の共有
- 10月6日（火）「推進チーム第1回会合開催」
  - ・ 「障害者活躍推進計画」概要説明
  - ・ 今年度の進め方（スケジュール）
- 11月5日（木）、11日（水）
  - ・ 障害者職業生活相談員資格認定講習受講
- 2月19日（水）「実務者チーム第1回会議（書面開催）」
  - ・ 令和3年度に向けての要望・意見等について
- 3月31日（水）推進チーム第2回会合開催（書面開催）
  - ・ 令和3年度障害者活躍推進計画取組方針の説明

## 3 障害者の活躍の基本となる職務の選定・創出

- ・ 能力や特性を踏まえ、各所属への調査により障害者枠のポストの選定、創出  
⇒目標④のとおり
- ・ 各所属における定期的な面談により、現に任用する職員とその業務の点検を実施

#### **4 障害者の活躍を推進するための環境整備・人事管理**

- ・ 障害者枠での職員採用の実施
- ・ テレワークや時差出勤等の柔軟な勤務制度の利用促進

## 令和2年度 ワーク・エンゲージメント調査結果について

### 1 仕事に対する感じ方（標準値：3.0）

いずれの指標についても標準値を上回る数値となっているが、指標や障害の様態によって大きく変動がある。ただし、障害の様態によって満足度に差が生じていることや、特性の障害において特に低下している項目がある。

また、自由記述欄に記載されたコメントからは、基本的な配慮に欠けていることが推測される記述が散見される、一方、職場の一員として業務に貢献したい意見が多く寄せられた。

これらを参考に、今後、障害の特性に応じた対応の検討を行い、所属における環境改善に活用したい。

指標1(活力1) 仕事をしていると、活力がみなぎるように感じる

平均点：3.8（身体：3.9、精神：3.2、知的：4.6）

指標2(活力2) 職場では、元気が出て精力的になるように感じる

平均点：3.8（身体3.8、精神：3.3、知的：4.7）

指標3(熱意1) 仕事に熱心である

平均点：4.4（身体：4.3、精神：4.1、知的：5.0）

指標4(熱意2) 仕事は、私に活力を与えてくれる

平均点：4.1（身体：4.1、精神：3.6、知的：5.2）

指標5(活力3) 朝に目がさめると、さあ仕事へ行こう、という気持ちになる

平均点：3.7（身体：3.8、精神：2.9、知的：5.2）

指標6(没頭1) 仕事に没頭しているとき、幸せだと感じる

平均点：3.6（身体：3.6、精神：3.3、知的：4.4）

指標7(熱意3) 自分の仕事に誇りを感じる

平均点：4.1（身体：4.2、精神：3.6、知的：4.8）

指標8(没頭2) 私は仕事にのめり込んでいる

平均点：3.6（身体：3.5、精神：3.3、知的：4.8）

指標9(没頭3) 仕事をしていると、つい夢中になってしまう

平均点：4.0（身体：3.8、精神：3.9、知的：4.7）